

沖縄から世界へ ～高校留学のインパクト～

公益社団法人 日本国際生活体験協会(EIL)
鈴木 義弘

団体紹介

公益社団法人 日本国際生活体験協会(EIL)

- ▶ 1932年設立。90年の歴史を持つ国際組織。
- ▶ 世界で最初にホームステイを始めた団体。
- ▶ 目的は「ホームステイを通じた世界平和」
- ▶ 1989年、国連のピースメッセンジャー（平和の使者）賞を受賞。
- ▶ 日本EILは今年度で設立66年。
- ▶ 2012年、公益社団法人へ移行。



政治・宗教・人種に関わりなく、違う文化を持った人同士が、ともに生活することでお互いの文化を理解し、尊重し合う。このような個人レベルでの国際交流が、世界平和につながる

● 高校生留学に関する主な関係団体

- ▶ [公益社団法人日本国際生活体験協会\(EIL\)](#)
- ▶ [公益財団法人YFU日本国際交流財団\(YFU\)](#)
- ▶ [公益財団法人AFS日本協会\(ASF Japan\)](#)
- ▶ [特定非営利活動法人文際交流協会\(BIEE\)](#)
- ▶ [独立行政法人日本学生支援機構\(JASSO\)](#)

お問合せ先

初等中等教育国際教育課国際理解教育係

(初等中等教育局国際教育課)

-- 登録:平成24年07月 --

講師紹介

鈴木 義弘（すずき よしひろ）

公益社団法人 日本国際生活体験協会（EIL）理事長

福島県南相馬市出身。県立相馬高校在籍中にアメリカカンサス州に高校交換留学、その後、オハイオ州の大学と大学院へ進学。



東京都英語教育戦略会議委員

沖縄県英語立県沖縄推進戦略事業／国際ネットワーク形成実行委員

熊本県立済々黌高校／スーパーグローバルハイスクール運営指導委員

文京学院大学女子中学高校／スーパーグローバルハイスクール運営指導委員

沖縄県立那覇国際高校／スーパーグローバルハイスクール運営指導委員

熊本県立熊本高校／ワールドワイドラーニングコンソーシアム運営指導委員

EILがサポートしている留学事業

沖縄県教育委員会

- ▶ 2013-2019年 グローバル・リーダー育成海外短期研修事業 アメリカ高等教育体験研修
- ▶ 2013-2019年 国際性に富む人材育成留学事業

在沖米国総領事館

- ▶ 2022年 アメリカ大使留学奨学金プログラム

琉球銀行

- ▶ 2019年 りゅうぎん国際化振興財団 りゅうぎん海外留学支援事業

那覇日経

- ▶ 海外語学研修 in the U.S.A.

沖縄タイムス

- ▶ タイムスホームステイプログラム

県立高校姉妹校交流等

- ▶ 那覇国際高校 ・ 小禄高校 ・ 北山高校 ・ 読谷高校

文部科学省の考えるグローバル人材とは

要素Ⅰ

語学力・コミュニケーション能力

(臆せず積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度
相手の意図や考えを的確に理解し、
論理的に説明したり、説得したりできる能力)

要素Ⅱ

主体性・積極性、チャレンジ精神、 協調性・柔軟性、責任感・使命感

要素Ⅲ

異文化に対する理解 日本人としてのアイデンティティー



幅広い教養と
深い専門性

課題発見・解決能力

公共性・倫理観、
メディア・リテラシー

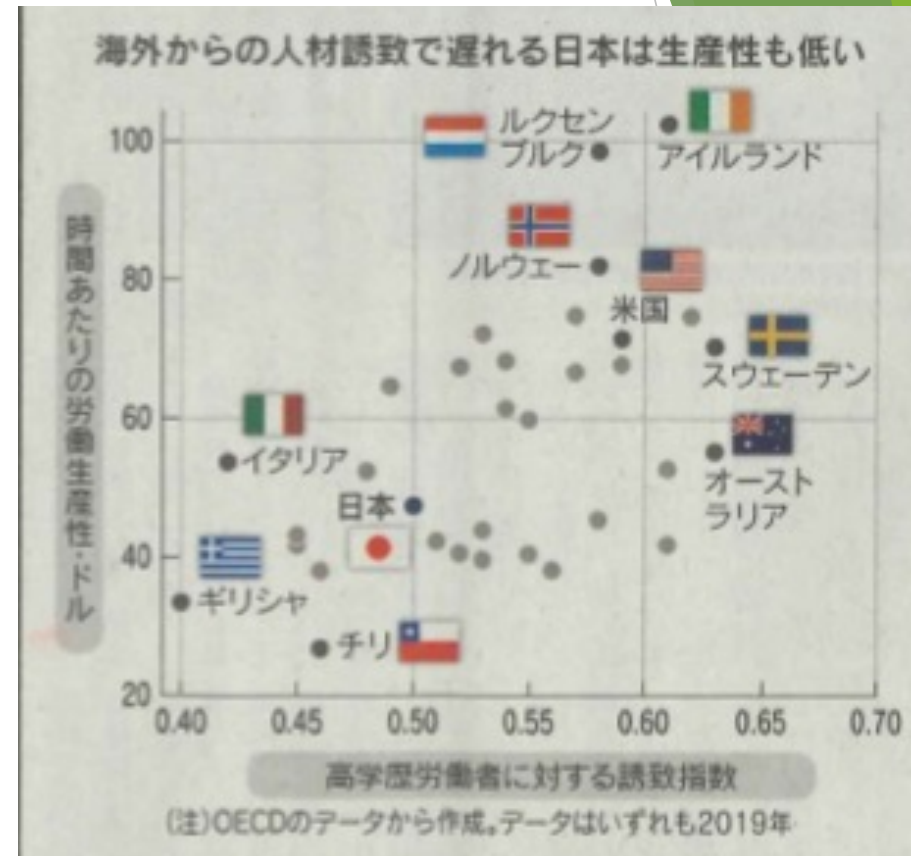
チームワークと
(異質な者の集団をまとめる)
リーダーシップ

出典：文部科学省初等中等教育局 国際教育課 関 百合子「初等中等教育段階におけるグローバル人材育成について」
「グローバル人材育成推進会議中間まとめ」（平成23年6月22日 グローバル人材育成推進会議決定）外国語能力の向上に関する検討会「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」

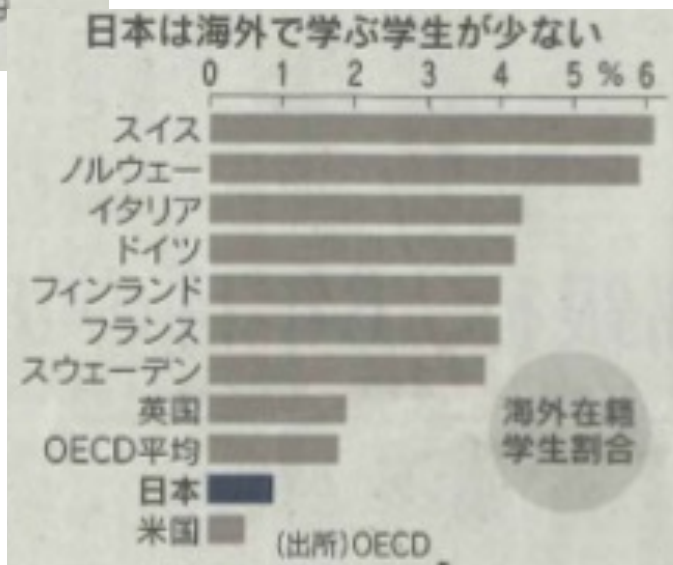
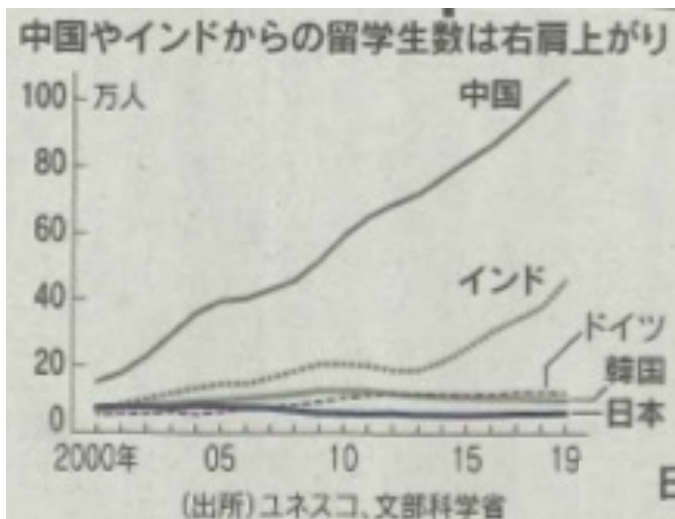
労働力が減少する日本

働き手一人ひとりの

1. 生産性を向上
2. 競争力を強化



日本からの留学生の減少



海を渡らぬ日本の若者

「ス世代」留学で鍛錬

渡米人材が起業... 成長に貢献した。ベネッセグループの海外展開大任に挑む「ス世代」が、海外で学んだ経験を生かして起業する事例が紹介されている。

設計・開発・生産 中核技術移転求める

中国は多国籍企業「国家権威」を誇る。中核技術の移転を求めている。中国の国家権威を維持し、中核技術の移転を求めている。中国の国家権威を維持し、中核技術の移転を求めている。

海外在籍学生割合

日本は海外で学ぶ学生が少ない。OECD平均よりも低い。日本は海外で学ぶ学生が少ない。OECD平均よりも低い。

春校

春校の開催が決定。春校の開催が決定。春校の開催が決定。

高校留学をオススメする4つの理由

① フィールドが世界中に広がる

海外にもう1つの家族友人ができることで、これまで遠かった海外は、身近なものに。旅行も、学ぶことも、働くことも、そのフィールドは、世界中に広がります。

② 現地の暮らしをそのまま体験できる

滞在形式はホームステイ。

そのため、その国のリアルな生活習慣や、考え方などに触れられます。

③ 将来の進路を考えるのに最適

今までの生活とは全く異なる環境で、一年間過ごし、様々な困難を乗り越える中で、自分にとって大事なことが見えてきて、それが将来の進路選択の重要なヒントになります。

④ 語学習得スピードがとにかく速い！

交換留学では、1年間現地のホストファミリーと暮らしながら、現地の公立高校に通います。日本語を話す機会はほとんどなくなるため、語学習得のスピードがグッと高まるのが特徴。

高校交換留学と大学留学の違い

	高校交換留学	大学留学
目的	海外の地域社会で生活し、異文化体験、人格形成	専門性を身に付ける 学問的要素が強い
滞在形	ボランティアの家庭でのホームステイ	学生寮、アパート、 またはホームステイ（有償）
関わる人々	ホストファミリー、 高校の先生、友人、その家族等、 地域の人々	教授、友人 ホストファミリー、地域の人々
期間	高校在学中の一年間	大学卒業を目指し、四年間
費用総額 (最低限の小遣いと 渡航費を含む)	1年間100万～250万円	1年間200万～500万

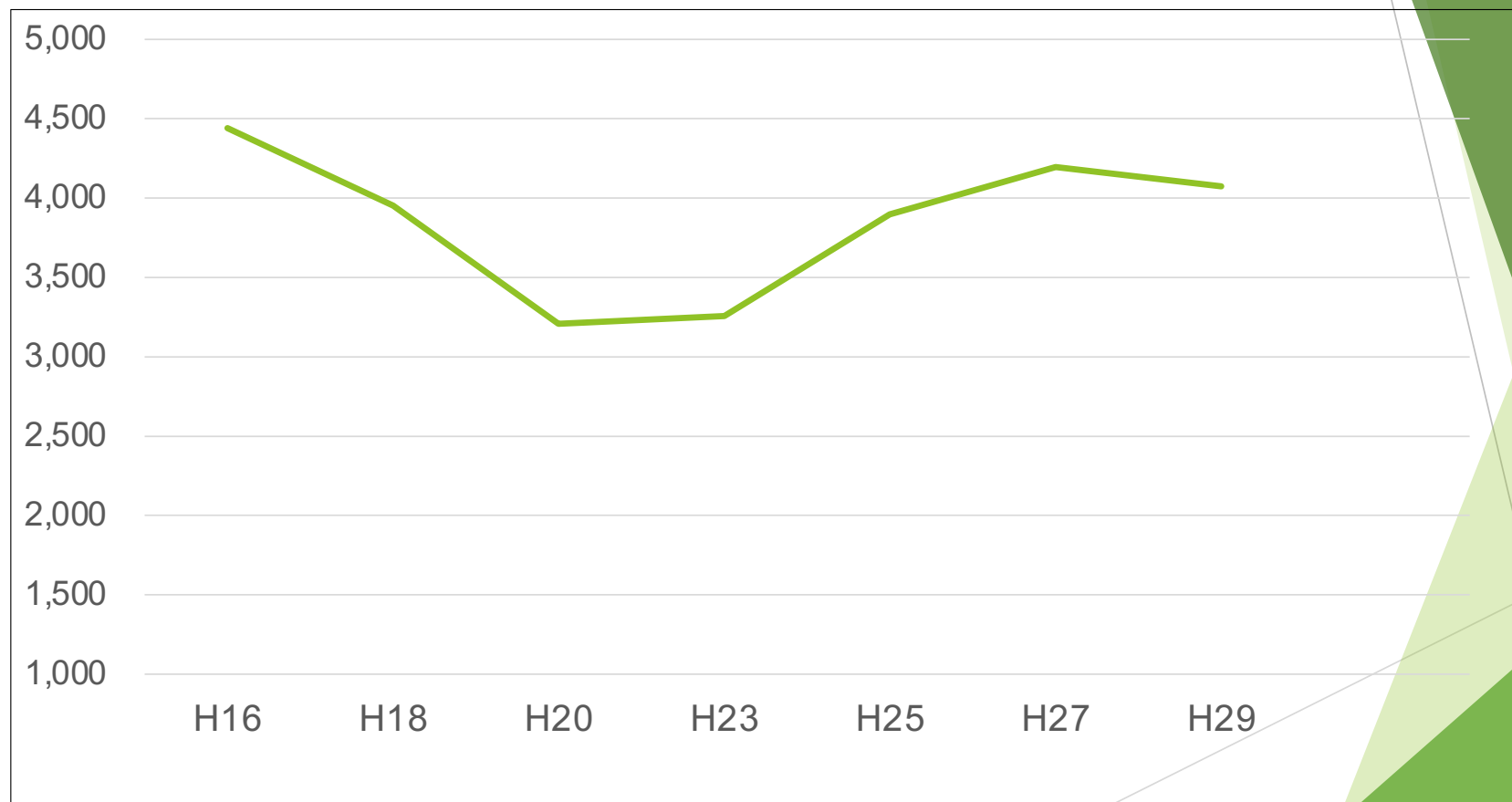
留学期間に比例する効果

	未経験	3ヶ月未満	3~6ヶ月	6ヶ月以上
異文化理解	24.3%	44.2%	48.0%	73.7%
自国社会・文化の認識	14.9%	23.7%	24.0%	54.9%
英語力 (TOEIC730点以上相当)	12.1%	23.9%	49.0%	60.6%
国家問題の理解	12.2%	12.9%	20.0%	27.0%
グローバル問題の理解	12.1%	17.3%	24.0%	36.2%

6ヶ月以上で能力が身に付いたと
実感する学生が格段に多い

高校留学について

留学生数（3ヵ月以上）の推移



交換留学と私費留学の違い

	<交換留学>	<私費留学>
目的	海外の地域社会で生活し、国際理解・交流を深める	日本とは異なる教育方針のもとで、興味のあることや個性を伸ばす。
留学先	主として現地の公立校。まれに私立の場合もある。	主として現地の私立校。 国によっては一部、公立校にも留学可能。
滞在形	ボランティアの家庭でのホームステイ	学生寮、ホームステイ
期間	最長1年間 *異なる国であれば複数年もあり得る。	制限なし
対象者	高校1～3年生 (中学生を対象とした交換留学制度はない)	日本の中学、高校に該当する年齢層の者
受付窓口	営利・非営利の交換留学プログラム実施団体	留学関連団体・会社に手続き代行を依頼。 もしくは、希望する学校に直接申し込む。
選考方法	各実施団体の独自の試験(語学力判定テスト、作文、面接など)の結果による。	各学校から要求される能力証明書(語学力判定テストのスコアや成績証明書など)の内容による。
費用総額 (最低限の小遣いと渡航費を含む)	1年間100万～300万円	1年間200万～800万円(留学関連団体・会社を利用する場合は、プラス50万～100万円)

りゅうぎん海外留学支援事業（2022年度募集例）

▶ 趣旨

沖縄経済の国際化促進を目的にグローバルに活躍できる人材を支援
異文化体験を通じて国際感覚が身につくことを期待

▶ 派遣先国

アメリカ、フランス、ドイツ、ベルギー、イタリア、ノルウェー、スウェーデン、
デンマーク、オランダ、タイ、エクアドル、エストニア、台湾、南アフリカ

▶ 派遣期間：1学年間（約10ヶ月） 募集人数：1名程度

▶ 特徴

同一世帯の所得証明書の提出が必須

VISA申請費用も支援対象

大学・大学院留学も対象

アメリカ大使留学奨学金プログラム（2022年派遣募集例）

▶ 趣旨

広く海外に視野を向け、将来的にグローバルに活躍する人材を支援

▶ 派遣先国：アメリカのみ

▶ 派遣期間：1学年間（約10ヶ月） 募集人数：10名

▶ 特徴

中1～最新学年成績において5段階評価の1および2を取得していないこと

VISA申請費用も支援対象

国際性に富む人材育成留学事業（2020年度募集例）

▶ 趣旨

国際性と個性を涵養しグローバルに活躍できる人材を育成
異文化体験を通して国際感覚が身につくことを期待

▶ 派遣先国

アメリカ、アルゼンチン、イギリス、イタリア、エクアドル、エストニア、オランダ、カナダ（英語圏）、
コスタリカ、スウェーデン、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、フィリピン、
フィンランド、フランス、南アフリカ、メキシコ、モロッコ

▶ 派遣期間：1学年間（約10ヶ月） 募集人数：85名程度

▶ 特徴

他の奨学金制度と比較し募集人数が多い

	りゅうぎん海外留学 支援事業	アメリカ大使留学 奨学金	国際性に富む人材 育成留学事業
主催	一般財団法人りゅうぎん 国際化振興財団	在沖縄米国領事館	沖縄県教育委員会
派遣 人数	1名程度	10名	85名程度
派遣国	14か国 アメリカ、フランス、ドイツ、 ベルギー、イタリア、ノルウェー、 スウェーデン、デンマーク、 オランダ、タイ、エクアドル、 エストニア、台湾、南アフリカ	アメリカ	23か国 アメリカ、アルゼンチン、イギリス、 イタリア、エクアドル、エストニア、 オランダ、カナダ（英語圏）、コスタ リカ、スウェーデン、タイ、台湾、 チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、 ノルウェー、フィリピン、フィンラン ド、フランス、南アフリカ、メキシコ、 モロッコ

*** 派遣人数、派遣国は過去の募集事例です。募集内容は毎年変更する可能性があります**

「国際性に富む人材育成留学事業」参加者の就職先例

- ▶ De Anza College – Resort World Sentosa (シンガポール) (北山高校・オーストラリア派遣)
- ▶ 筑波大学 - 全日本空輸株式会社 (パイロット) (普天間高校・アメリカ派遣)
- ▶ 国際教養大学 - 独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) (那覇国際高校・アメリカ派遣)
- ▶ 早稲田大学 - 独立行政法人国際協力機構 (JICA) (那覇国際高校・アメリカ派遣)
- ▶ 立教大学 - 三井化学株式会社 (昭和薬科大学附属高校・アメリカ派遣)
- ▶ 早稲田大学 - 日本IBM (向陽高校・中国派遣)
- ▶ 琉球大学 - シティグループ証券会社 (球陽高校・アメリカ派遣)
- ▶ 国際基督教大学 – SAPジャパン株式会社 (那覇国際高校・アメリカ派遣)
- ▶ 琉球大学 - 沖縄県庁 (向陽高校・カナダ派遣)
- ▶ 琉球大学 - EY税理士法人 (那覇国際高校・アメリカ派遣)
- ▶ 上智大学 - 沖縄テレビ報道記者 (コザ高校・アメリカ派遣)

「国際性に富む人材育成留学事業」参加者の主な進学実績

- 国公立への進学率：
46.6%（210名）
- 医学部進学人数：24名
- 旧帝大および琉大の人数内訳
 - 旧帝大 13名
北海道大学：1名、東北大学：1名、
大阪大学：2名、京都大学：2名、
九州大学：7名
 - 琉球大学 64名
- 進学大学トップ5（人数）
 - 1位 琉球大学（64名）
 - 2位 早稲田大学（24名）
 - 3位 筑波大学（17名）
 - 4位 横浜市立大学（15名）
 - 5位 国際基督教大学・上智大学（12名）
- 難関校進学人数

早稲田大学	24名
国際基督教大学	12名
上智大学	12名
秋田国際教養大学	7名
慶應義塾大学	7名

「国際性に富む人材育成留学事業」参加者の 主な海外への進学・大学院進学実績

海外への進学者数（国別）

海外進学者数総計：33名

国別進学者数：

台湾14名、中国3名、アメリカ11名、チェコ1名、
ハンガリー1名、ポーランド1名、ドイツ1名、タイ1名

アメリカ 進学先大学名：

Austin community college, Campbellville University

De Anza College, Foothill college, Fordham
University

Lindenwood University, Santa Monica College

Texas A&M University, Soka University of America

University of California Berkeley

Webber International University 計11校

大学院への進学者数

総計：12名

進学先：

沖縄県立芸術大学大学院

琉球大学大学院（2）

立命館大学院

信州大学大学院

東京大学大学院（2）

筑波大学大学院（2）

杏林大学大学院

University of Hawaii in Manoa

Claremont Graduate University

H25～H30年度派遣生450名分
（追跡調査2020年6月10日回答分まで）

アメリカ合衆国への高校留学生の国別ランキング

2009年度 (交換)

	出身国	留学生数
1位	ドイツ	8,172人
2位	ブラジル	1,889人
3位	中国	1,661人
4位	韓国	1,616人
5位	タイ	1,210人
6位	ノルウェー	925人
7位	イタリア	892人
8位	スペイン	866人
9位	日本	791人
10位	デンマーク	655人

2021年度 (交換)

	出身国	留学生数
1位	ドイツ	4,316人
2位	スペイン	4,149人
3位	イタリア	3,482人
4位	中国	1,310人
5位	フランス	1,233人
6位	ブラジル	739人
7位	デンマーク	525人
8位	タイ	515人
9位	韓国	486人
10位	日本	455人

アメリカで受け入れている各国交換留学生の人口比ランキング (対 15~19歳の人口)

2019年度 順位	2021年度 順位		国名	15~19歳人口に対する 長期留学生比
3	⇔	1	スペイン	1: 539
1	⇔	2	デンマーク	1: 646
	⇔	3	モンテネグロ	1: 813
5	⇔	4	イタリア	1: 826
2	⇔	5	ノルウェー	1: 931
			⋮	
14	↓	20	韓国	1: 3,860
15	↓	29	モンゴル	1: 6,636
18	↓	33	タイ	1: 8,503
28	↓	43	日本	1: 12,534

効果的な留学中の姿勢

“Expect the unexpected”

EILへの問い合わせ先

- ▶ EIL東京事務所
電話番号：03-5805-3451
- ▶ EIL神戸事務所
電話番号：078-325-5690
- ▶ EIL沖縄事務所
電話番号：098-880-2197

メールアドレス：info@eiljapan.org

資料請求はこちら↓

